

レンズを使用する前に必ず添付文書をよく読み、必要なときに読めるように保管してください。

* 2017年8月改訂 (第7版) (新記載要領に基づく改訂)
2016年6月改訂 (第6版)

承認番号：21900BZX00422000

機械器具72視力補正用レンズ
高度管理医療機器 再使用可能な視力補正用色付コンタクトレンズ 32803000
シードUV-1

【警告】

1. コンタクトレンズ(以下、レンズ)の装用により、角膜潰瘍、角膜炎(感染性角膜炎を含む)、角膜浸潤、角膜びらん等の角膜上皮障害、角膜浮腫、結膜炎(巨大乳頭結膜炎を含む)、虹彩炎、角膜血管新生等が発症する可能性及び角膜内皮細胞の減少を早める可能性があります。
レンズの装用による眼障害の中には、治療せずに放置すると失明につながるものがあります。
2. 上記の眼障害を起こさないようにするためにも、レンズを使用する際は次のことを守ってください。
 - (1) 装用時間・連続装用サイクルを正しく守ること
レンズの装用時間・連続装用サイクルには個人差があります。眼科医から指示された装用時間・連続装用サイクルを守ってください。
 - (2) 取扱い方法を守り正しく使用すること
レンズやケア用品の取扱い方法を誤ると眼障害につながります。レンズやケア用品(特にレンズケース)は清潔に保ち、正しい取扱い方法で使用してください。
 - (3) 定期検査を受けること
自覚症状がなく調子よく装用していても眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくても眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。
 - (4) 異常を感じたら直ちに眼科を受診すること
レンズ装用前に目ヤニや充血がないか、また装用後も異物感等がないか確認し、異常を感じたら眼科を受診してください。
 - (5) 破損等の不具合があるレンズは絶対に使用しないこと
装用前に、レンズに破損等の不具合がないか必ず確認してください。装用中にレンズの破損等による自覚症状が発生し、自覚症状が改善しない場合は眼科を受診してください。
 - (6) 連続装用の承諾書と管理手帳の内容を守ること
連続装用は眼科医の許可を得てから行い、連続装用の承諾書と管理手帳の内容を守ってください。

【禁忌・禁止】

1. 適用対象(患者): 次の人は使用しないこと
前眼部の急性及び亜急性炎症
眼感染症
ぶどう膜炎
角膜知覚低下
レンズ装用に問題となる程度のドライアイ及び涙器疾患
眼瞼異常
レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患
常時、乾燥した生活環境にいる人
粉塵、薬品等が眼に入りやすい生活環境にいる人
眼科医の指示に従うことができない人
レンズを適切に使用できない人
定期検査を受けられない人
レンズ装用に必要な衛生管理が行えない人
2. 使用方法
自分のレンズを他人に渡したり他人のレンズを使用しないこと

***【形状・構造及び原理等】**

1. レンズの組成

- (1) 構成モノマー: ケイ素含有メタクリレート系化合物、フッ素含有メタクリレート系化合物、MMA、MAA、EGDMA
- (2) 酸素透過係数: $60 \times 10^{-11} (\text{cm}^2/\text{sec}) \cdot (\text{mLO}_2/(\text{mL} \cdot \text{mmHg}))$
- (3) 着色剤: アントラキノン系着色剤(レンズカラー: ブルー)
- (4) 紫外線吸収剤: ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤
紫外線吸収率: 頂点屈折力-3.00Dの場合
UV-A波: 吸収率80%以上
UV-B波: 吸収率90%以上

2. 保存液

保存液の主成分: 湿潤剤、ホウ酸系緩衝剤、EDTA、グルコン酸クロルヘキシジン

3. 原理

ハードコンタクトレンズであり、屈折による光学原理により視力補正を行います。

***【使用目的又は効果】**

視力補正

***【使用方法等】**

終日装用、又は1週間までの連続装用

<使用方法等に関連する使用上の注意>

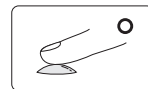
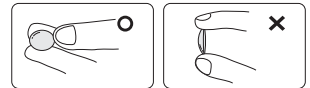
1. レンズ着脱

(1) レンズ取扱いの注意事項

- ・ 爪を短く切り、丸くなめらかにしてください。
- ・ レンズを取扱う前に必ず手を石けんで洗浄してください。
- ・ レンズを着脱するときは、爪を立てたり、指先が直接眼にふれないようにしてください。

(2) レンズの取り出し方

- ・ レンズ面を指の腹を使って軽くつまみ、保存ケースホルダーから真っ直ぐに引き出してください。
- ・ レンズは、人さし指、中指、親指で軽く持ってください。強く指で挟むと破損や変形する場合があります。
- ・ レンズを落とす場合は、人さし指の腹を水でぬらし、レンズに軽くふれ、指にレンズをつけて拾ってください。強く押し引きすると破損する場合があります。



(3) レンズのつけ方

- 1) つける眼と反対側の手の人さし指の先にレンズの凹面を上にしてのせてください。
- 2) もう一方の手の親指と人さし指で眼を大きく開けてください。指をまつげのはえぎわにあてると、眼を大きく開けることができます。
- 3) 角膜が眼の中央にくるように鏡に顔を向けます。鏡を見ながら角膜の上にレンズをそっとのせてください。このとき、上目づかいになると正しく角膜にレンズがのりません。
- 4) レンズが角膜の上のっているかどうかを鏡で確認し、反対側の眼を手でおおい左右の見え方も確認してください。
- 5) もう一方の眼にも同じ方法でレンズを装用してください。



(4) レンズのはずし方

- 1) 鏡で見てレンズが角膜の上にあることを確認してください。レンズが角膜の上でない場合は、(5)レンズがずれたときの直し方に従ってレンズを角膜の上に戻してから行ってください。
- 2) レンズより眼を大きく開けます。レンズをはずす眼と同じ側の手の人さし指を目尻にあて眼を大きく開けたままで耳側やや上方に引いてください。まばたきをするとレンズがはずれて落ちてきます。レンズはもう一方の手で受け止めてください。



(5) レンズがずれたときの直し方(例/レンズが耳側にずれたとき)



- 1) 顔は正面を向いたまま、耳側にずれたレンズと反対側の鼻側に鏡を持ってください。
- 2) 顔は正面を向いたまま目線だけを鏡に向けてください。
- 3) 人さし指で目尻を押さえてレンズの端(エッジ)を固定してください。
- 4) 鏡に目線に向けたまま鏡を鼻側から耳側に動かしてください。目線の移動により固定されたレンズが角膜の上に戻ります。
※鼻側、上方、下方にずれた場合も同じ要領で直してください。